



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 相原 尚昭 TEL (03)5840-9551  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,529	17.7	38	△52.7	38	△53.3	14	△69.2
2023年6月期第1四半期	1,299	3.4	80	△9.9	83	△10.3	46	△15.7

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 10百万円 (△76.9%) 2023年6月期第1四半期 46百万円 (△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	1.70	—
2023年6月期第1四半期	5.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	4,254	3,425	79.9
2023年6月期	4,498	3,614	79.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 3,401百万円 2023年6月期 3,586百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,524	25.3	371	97.8	377	94.0	151	845.1	18.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	8,708,000株	2023年6月期	8,708,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	344,667株	2023年6月期	246,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	8,407,585株	2023年6月期1Q	8,654,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)におけるわが国経済は、経済活動や社会生活正常化に向けた動きが加速する中、生活必需品の値上げのほか、電気やガソリンなどのエネルギー価格高騰、長期化する人員不足が懸念材料となり景気動向も横ばいとなっております。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム<sup>®</sup>』、『ASシステム』、『AS-BOX』及び『スマートOCR<sup>®</sup>』を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ・保険販売事業

直営店部門は、引き続き向井理さんをイメージキャラクターとして活用し、Web広告やSNSなどオンライン施策を強化いたしました。さらに、Web広告では、アフィリエイト広告、Yahoo・Google・Facebookなどのディスプレイ広告やリスティング広告などを実施いたしました。その結果、Web広告からの電話相談・オンライン相談への流入が上昇したことにより予約数は大幅に増加した一方で、既存店における直接来店件数は横ばいとなりました。9月末の直営店舗数は前期末から4店舗増の66店舗となり、この結果、売上高は前年同期を11.5%上回りましたが当初予想値には届きませんでした。また、人財投資ならびに店舗出店に伴う先行投資により販売管理費が増加いたしました。

法人営業部門は、成約単価の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は823,010千円(前年同期比11.5%増)、セグメント利益は82,715千円(同9.8%減)となりました。

#### ・ソリューション事業

FC部門は、9月末のFC店舗数が200店舗(7店舗オープン、5店舗クローズ、2店舗直営化)となりました。一部店舗の直営化ならびに、Webからの送客増加により増収いたしました。今後も、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行っていきます。

AS部門は、ASシリーズのユーザーID数が12,405となり堅調に推移しました。地方銀行への導入は増加しており、銀行の導入数は37行となりました。この結果、大幅な増収となりました。また、大手保険会社などの大型案件は複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。今後も全国規模の金融機関や保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入の獲得に向けて注力しております。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は534,841千円(前年同期比34.8%増)、セグメント利益は150,383千円(同3.8%増)となりました。

#### ・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、官公庁関連サービスへのOEM提供、大手企業や生命保険会社向けなど、『スマートOCR<sup>®</sup>』関連の大型の新規受託開発が好調に推移し増収となりました。『スマートOCR<sup>®</sup>』に加え、電子帳簿保存法の改正に伴い電子帳簿保存クラウドサービス『DenHo<sup>®</sup>』については多くの問い合わせを頂いております。今後の当社グループの業績を牽引することが期待できるサービスの一つです。

一方で、営業力強化のため、人財確保などの先行投資が一時的に増加いたしました。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は171,802千円(前年同期比4.4%増)、セグメント損失は35,903千円(前年同期はセグメント利益43,234千円)となりました。

(注)『スマートOCR<sup>®</sup>』とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

(注)『DenHo<sup>®</sup>』とは、紙文書をスキャン、またはスマホで撮影しアップロードすると、AIが文書の文字を認識・データ化して保存、文書内のキーワードで検索・閲覧できる電子帳簿保存法に対応したクラウドサービスです。

販売費及び一般管理費につきましては、人員増による人件費の増加、店舗数増に伴う支払手数料等の増加から、

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,252,361千円（前年同期比21.3%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,529,653千円（前年同期比17.7%増）、営業利益38,223千円（同52.7%減）、経常利益38,918千円（同53.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益14,261千円（同69.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,567,016千円となり、前連結会計年度末に比べ264,275千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が424,180千円減少したことによるものであります。固定資産は1,687,885千円となり、前連結会計年度末に比べ20,311千円増加いたしました。これは主にソフトウェア仮勘定が14,914千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,254,901千円となり、前連結会計年度末に比べ243,963千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は807,440千円となり、前連結会計年度末に比べ55,283千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が31,467千円減少したことによるものであります。固定負債は21,888千円となり、前連結会計年度末に比べ26千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、829,328千円となり、前連結会計年度末に比べ55,310千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,425,572千円となり、前連結会計年度末に比べ188,652千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が112,658千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.9%（前連結会計年度末は79.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年8月14日の「2023年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,600,833	1,176,653
売掛金及び契約資産	892,500	663,936
その他	391,685	730,380
貸倒引当金	△53,728	△3,953
流動資産合計	2,831,291	2,567,016
固定資産		
有形固定資産	219,858	230,206
無形固定資産		
のれん	56,883	54,638
ソフトウェア	517,731	515,225
ソフトウェア仮勘定	56,709	71,624
その他	41,304	36,932
無形固定資産合計	672,629	678,419
投資その他の資産		
投資有価証券	133,481	133,481
保証金	439,729	439,546
繰延税金資産	95,123	100,126
その他	106,749	154,504
貸倒引当金	—	△48,400
投資その他の資産合計	775,085	779,259
固定資産合計	1,667,573	1,687,885
資産合計	4,498,864	4,254,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	111,495	59,830
未払金	207,300	190,198
未払費用	75,183	117,304
未払法人税等	70,600	39,132
契約負債	243,164	220,523
株主優待引当金	10,061	5,332
賞与引当金	13,130	8,158
その他	131,788	166,960
流動負債合計	862,724	807,440
固定負債		
その他	21,915	21,888
固定負債合計	21,915	21,888
負債合計	884,639	829,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,354,780	1,354,780
資本剰余金	1,300,498	1,300,498
利益剰余金	1,119,895	1,007,237
自己株式	△189,009	△261,469
株主資本合計	3,586,165	3,401,046
非支配株主持分	28,059	24,525
純資産合計	3,614,225	3,425,572
負債純資産合計	4,498,864	4,254,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,299,438	1,529,653
売上原価	186,021	239,069
売上総利益	1,113,416	1,290,584
販売費及び一般管理費	1,032,582	1,252,361
営業利益	80,833	38,223
営業外収益		
受取利息	73	69
受取賃貸料	7,149	5,440
助成金収入	277	—
受取保険金	557	—
その他	362	0
営業外収益合計	8,420	5,510
営業外費用		
賃貸収入原価	5,738	4,349
その他	98	465
営業外費用合計	5,837	4,815
経常利益	83,417	38,918
特別損失		
固定資産除却損	0	669
減損損失	—	3,416
特別損失合計	0	4,085
税金等調整前四半期純利益	83,417	34,832
法人税、住民税及び事業税	28,600	29,106
法人税等調整額	8,462	△5,002
法人税等合計	37,062	24,104
四半期純利益	46,354	10,727
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,354	14,261



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	46,354	10,727
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	46,354	10,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,354	14,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は、2023年8月14日開催の取締役会において、株式会社ライフアシストの株式80.9%を取得し、同社を子会社化することを決議し、同日付で基本合意書を締結いたしました。なお、2023年10月1日付で株式の取得をいたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ライフアシスト

事業内容 生命保険の募集に関する業務、損害保険代理業、上記に関する事業のコンサルティング業務、前各号に付帯又は関連する一切の事業

② 企業結合を行う主な理由

株式会社ライフアシストは、オリックス生命保険株式会社の連結子会社として、新潟県を中心に13店舗の保険ショップと全国12支社の訪問販売型チャネルを有し、保険販売事業を展開しています。当社は保険販売事業における更なる店舗展開の拡大と、訪問販売型チャネルの基盤強化による事業領域の拡大を展望し、株式を取得することといたしました。

③ 企業結合日

2023年10月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する議決権比率

80.9%

⑦ 取得企業を決定するに至る主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 400,000千円

取得原価 400,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 7,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。